

HYLS

12月29日現在

ファーストトラスト タクティカル ハイールドETF

≫ ファンドの目的

この上場投資信託(ETF)は、主に投資適格未満または格付がないハイ・イールド債券のポートフォリオに分散投資することにより、インカムゲインの獲得を第一としてキャピタルゲインも追求します。

≫ ファンド概要

ファンドティッカー HYLS
CUSIP 33738D408
iNAVティッカー HYLSIV
ファンド設定日 2013/2/25
30日SEC利回り† 7.55%
主要取引所 NASDAQ

≫ 手数料および費用

管理手数料 0.95%
その他費用 0.32%
年間費用合計 1.27%

≫ ポートフォリオ・マネージャー

・ウィリアム・ハウジー、CFA
債券部門マネージング・ディレクター
・ジェフリー・スコット、CFA
シニア・バイス・プレジデント

≫ ファンド詳細

- 当ファンドはアクティブ運用型の上場投資信託(ETF)です。通常の市場環境下では、米国および米国以外の企業債務証券、銀行ローン、転換社債などのハイ・イールド債券に投資します。
- 有価証券のロング・ポジションとショート・ポジションの両方を維持し、ロング・ポジションは、ファンドの純資産総額の130%まで、ショート・ポジションはファンド純資産の0%~30%となります。
- 投資適格またはハイ・イールド証券とみなされる米国債および／または企業債務証券のショート・ポジションを取ることがあります。
- このロング・ショート戦略は、様々な市場サイクルを通じて投資機会を活用するように設計されています。

≫ ファンド・アドバイザー

- ポートフォリオはFirst Trust Advisorsのレバレッジド・ファイナンス投資チームによって選定・管理されています。
- 当チームは、厳格なファンダメンタル・クレジット選別プロセスと相対価値分析を組み合わせ、進化する投資環境がハイ・イールド、シニア・ローン、デリバティブ、エクステッド・インカム商品市場に様々なレベルの投資リスク機会を提供していると考えています。
- 魅力的な投資案件を活用し、潜在的なリスクを効果的に管理するために、徹底的かつ継続的な信用分析、市場評価、分散投資、ロング・ショート・ポジション、優先債務と劣後債およびデリバティブの間で投資を再配分する能力を組み合わせることで、より高いリスク調整後リターンを達成できる可能性があると考えています。
- ファンダメンタル分析では、産業動向、経営の質、担保の妥当性、企業のキャッシュフローの一貫性などを評価します。ファンダメンタルズ信用分析を通じて、レバレッジド・ファイナンス投資チームは、市場で最も魅力的な相対価値を提供すると考えられる証券にポートフォリオを位置づけることができます。

≫ パフォーマンス概要 (%)

	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド・パフォーマンス*							
基準価額 (NAV)	7.66	13.38	13.38	0.88	4.28	3.61	4.09
市場価格	7.73	13.73	13.73	0.81	4.36	3.59	4.08
指数パフォーマンス**							
ICE BofA US High Yield Constrained Index	7.07	13.46	13.46	2.00	5.19	4.51	4.68

≫ 年次トータル・リターン (%)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
HYLS	-	2.43	-0.15	8.56	6.06	-1.79	13.93	5.43	3.60	-12.59	13.38
ICE BofA US High Yield Constrained Index	-	2.51	-4.61	17.49	7.47	-2.25	14.41	6.07	5.35	-11.21	13.46

≫ 3年統計

	標準偏差 (%)	アルファ	ベータ	シャープレシオ	相関
HYLS	9.07	-1.06	1.04	-0.10	0.97
ICE BofA US High Yield Constrained Index	8.44	-	1.00	0.02	1.00

2023年1月3日、ファンドが保有するシニア・ローン投資の公正価値評価方法が変更されました。それ以前は、シニア・ローンはプライシング・サービスが提供する買値で評価されていました。この日以降、シニア・ローンはプライシング・サービスが提供する買値と売値の間接点を用いて評価されました。2023年1月3日にファンドの公正価値評価方法が変更された結果、同日のファンドの純資産価値は1株当たり約0.035ドルの一時的な上昇となり、これはファンドのパフォーマンスに0.09%のプラスの影響を与えました。価格決定方法の変更がなければ、2023年9月29日に終了したファンドの年初来、1年、3年、10年、および2023年9月29日に終了したファンド初回以降の期間におけるファンドのパフォーマンスは、基準価額ベースでそれぞれ5.20%、8.04%、-0.03%、1.85%、3.27%、および3.46%でした。

パフォーマンスデータは過去のもので、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではなく、現在のパフォーマンスは提示されたパフォーマンスよりも高い場合も低い場合もあります。投資リターンおよび元本価値は変動し、株式の売却時または償還時には、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は、www.ftportfolios.comにてご確認ください。

その他費用は、信用取引支払利息および空売り投資に対する配当費用です。

30日SEC利回りは、直近30日間に獲得した1株当たり純投資収益を、当該期間の最終日の1株当たり公募価格で除して算出。

*基準価額(NAV)リターンは、ファンドの純資産額(資産から負債を差し引いたもの)をファンドの発行済み株式数で割ったものです。リターンは、その他に株式を取引した場合のリターンを表すものではありません。市場価格リターンは、ファンド基準価額が算出された時点の国内最良買値(FNBBO)の midpoint を使用して決定されます。リターンは、1年未満の期間のものを除き、年平均の総合リターンです。

**各指数のパフォーマンスは例示であり、実際のファンド・パフォーマンスを示すものではありません。指数パフォーマンスには管理手数料や売買委託手数料は含まれておらず、表示されたパフォーマンスからそのような手数料や費用は差し引かれていません。インデックスは非管理型であり、投資家はインデックスに直接投資することはできません。ロングとショート是有価証券の所有権を表す投資用語。証券を買うことは「ロング」。ロングの反対は「空売り」です。空売りは、借りた証券を売るという高度な取引戦略です。有価証券の価格が下がり、空売りした価格よりも低い金額でその有価証券を買うことができれば、空売り人は利益を得ます。

ファーストトラスト タクティカル ハイイールドETF

12月29日現在

» ポートフォリオ情報

保有証券数	304
加重平均ネット実効デュレーション (ショートポジションを含む) ¹	3.37年超
加重平均有効デュレーション (ロング・ポジション) ¹	3.37年超
加重平均残存期間 (ロング・ポジション)	5.18年末満
加重平均価格	\$93.23
ロング・ポジション	102.71%
米国債ショートポジション	0.00%
オプション調整後スプレッド	236bps
3ヶ月定期 SOFR3	5.33%

» 業種別内訳 (%)

ソフトウェア	15.30
メディア	15.20
保険	14.97
容器・包装	6.40
ホテル・レストラン・レジャー	6.27
ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	6.17
ヘルスケア・テクノロジー	5.88
商社・流通業	3.43
多様化する電気通信サービス	2.77
情報技術サービス	2.23

» 上位発行体 (%)

アシュアードパートナーズ	4.17
バーセンド・テクノロジー・インク(コティビティ)	3.91
アライアント・ホールディングス	3.82
HUBインターナショナル・リミテッド	3.60
ケーブルビジョン(別名CSCホールディングスLLC)	3.19
オープンテキスト・コーポレート(GXS)	3.11
チャーター・コミュニケーションズ・オペレーター LLC	2.93
グレイ・テレビジョン	2.60
ネクスター・ブロードキャストिंग	2.59
SS&Cテクノロジー・ホールディングス	2.54

» 資産タイプ (%)

債券	91.08
ローン	8.90
株式	0.02

» 信用格付別内訳 (%)⁴

A+	0.39
A-	1.17
BBB+	1.09
BBB	3.80
BBB-	6.43
BB+	5.83
BB	4.99
BB-	9.84
B+	14.03
B	12.76
B-	16.11
CCC+	19.89
CCC	3.08
NR	0.59

ポートフォリオ情報の統計には現金およびその他資産・負債は含まれていません。

1 利回りが変化した場合の債券価格の変化を反映した、金利変化に対する債券の感応度を示す価格。
2 確定利付証券の金利とリスク・フリー・リターン・スプレッドを測定するもので、組み込みオプションを考慮して調整されます。
3 Term SOFR Reference Ratesは、SOFR金利の指標的かつ将来的な測定値を提供するものであり、主要なデリバティブ市場。担保オーバーナイト・ファイナンス・レート(SOFR)は、財務省証券を担保とする現金のオーバーナイト借入コストを示す広範な指標です。SOFRには、広義一般担保金利のすべての取引に加え、二国間財務省現先取引(レボ)が含まれます。
4 格付けはS&P格付けによるものです。信用格付とは、全国的に認知された統計的格付機関(NRSRO)が、発行体の債務に関する信用力を評価したものです。格付けは一般的にAAA(最高)からD(最低)までの尺度で測定されます。投資適格クレジットは、長期信用格付けがBBB-以上の発行体。「NR」は格付けなし。表示されている信用格付は、ファンドの原証券の発行体の信用力に関するものであり、ファンドまたはその株式に関するものではありません。信用格付は変更される場合があります。

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料および費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関するその他情報が記載された目論見書または要約目論見書を入手するには、First Trust Portfolios LP(1-800-621-1675)に連絡するか、ホームページ(www.ftportfolios.com)をご覧ください。投資前に目論見書または要約目論見書をよくお読みください。

リスク

ファンドへの投資により損失を被る可能性があります。ファンドへの投資は銀行の預金ではなく、保険も保証もありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料が発生する場合があります。ファンドのリスクの詳細については、各ファンドの目論見書および追加情報説明書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性を示すものではありません。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、非常に大口の設定/償還単位で指定参加者がファンドから直接償還することのみが可能です。ファンドの指定参加者が設定/アスク・ディスカウントの注文を進めることができず、他の指定参加者が設定や償還に踏み切れない場合、ファンド株式はファンドの純資産価値に対してプレミアムまたはディスカウントで取引され、場合によっては上場廃止に直面し、ビッド/アスク・スプレッドが拡大する可能性があります。

銀行ローンへの投資は、他の負債証券と同様のリスクを伴いますが、入手できる公開情報が限られていることや、ローンの借り手がレバレッジを効かせている可能性があり、市場や経済状況の変化により大きな悪影響を受ける傾向があることから、リスクが高まる可能性があります。銀行ローンの流通市場では、不規則な取引、広いビッド/アスク・スプレッド、および取引決済期間の延長が発生する可能性があります。

金利低下期において、発行体が高利回りの債券をコールした場合、ファンドは低金利での運用を余儀なくされる可能性があり、その結果、ファンドのインカムが減少する可能性があります。設定および償還の全部または一部を現物ではなく現金で行うファンドは、税効率が低くなる可能性があります。

CDXクレジット・プロテクションへの投資エクスポージャーは、一般的に市場リスク、流動性リスク、信用リスク、カウンターパーティーリスクを含む原価値であるクレジット・デフォルト・スワップ債務のリスクの影響を受けます。ファンドがCDXクレジット・プロテクションを購入するか売却するかにかかわらず、このような投資は、ファンドがハイ・イールド・デット証券に直接投資した場合の損益を超えることはありません。

ファンドは、カウンターパーティーがその義務を履行しないリスクを負う可能性があり、その結果、ファンドに重大な財務的損失をもたらす可能性があります。

コベナンツ・ライト・ローンには、従来のローンに比べて維持条項が少なく、貸し手が借り手の財務パフォーマンスを監視し、一定の基準に違反した場合に債務不履行を宣言できる条件が含まれていない場合があります。これはファンドが問題を軽減する能力を妨げ、ファンドの投資損失へのエクスポージャーを増大させる可能性があります。

負債証券の発行体またはその他債務者が、配当、利息および/または元本の支払期日を守れなかったり、守ろうとしなかったりする可能性があり、その結果、証券の価値が下落する可能性があります。

信用格付機関が付与する信用度は、格付機関の意見であり、信用度の絶対的な基準ではなく、証券のリスクを評価するものではありません。信用格付けの決定過程における欠点や非効率性は、ファンドが保有する有価証券の信用格付けや、その認知または実際の信用リスクに悪影響を及ぼす可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資対象、またはファンドの株式全般が、現在の市況により値下がりするリスクのことです。インフレに対抗する手段として、米連邦準備制度理事会(FRB)および特定の外国の中央銀行は金利を引き上げており、今後も引き上げる見込みであり、米連邦準備制度理事会(FRB)は以前に実施した量的緩和を撤回する意向を表明しています。最近および将来起こりうる銀行の破綻は、より広範な銀行業界または市場一般に混乱をもたらす。金融機関および経済全体に対する信頼を低下させ、市場のボラティリティを高め、流動性を低下させる可能性があります。2022年2月、ロシアはウクライナに侵攻し、ロシア、欧州、イギリスの市場において重大な市場の混乱とボラティリティを引き起こし、今後も引き起こす可能性があります。このような敵対行為とそれに起因する制裁措置は、ファンドのパフォーマンスや流動性だけでなく、特定のファンド投資にも重大な影響を及ぼしており、今後もその可能性があります。COVID-19の世界的大流行、または将来の公衆衛生危機、およびそれに続く政府機関や中央銀行による政策は、世界の金融市場に大きな変動と不確実性をもたらす、今後もたらし続ける可能性があります。

ファンドはサイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けます。このような事象が発生した場合、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加的なコンプライアンス費用、及び/又は財務上の損失を被る可能性があります。

負債証券への投資は発行体の信用リスクにさらされ、負債証券の価値は一般的に金利の変化と反比例して変動します。また、負債証券は一般的に証券取引所で取引されないため、流動性が低く、評価も困難です。

デフォルト証券は、デフォルトしていない証券に比べて元本が返済されないリスクが非常に高く、ファンドに損失をもたらす可能性があります。

デリバティブ商品の利用には、カウンターパーティー・リスク、評価リスク、ボラティリティ・リスク、流動性リスクなど、有価証券への直接投資とは異なる、場合によってはより大きなリスクが伴います。さらに、原資産、指数または金利の価格または価値の不利な動きによる損失は、デリバティブの特定の特徴によって大きくなる可能性があります。

次ページのその他のリスクをご覧ください。

ファーストトラスト タクティカル ハイイールドETF

12月29日現在

リスクの続き

ディストレスト証券は投機的で、流動性が低いか、取引量が少ないことが多いため、評価が難しく、デフォルトのリスクが高い可能性があります。

エクステンション・リスクとは、金利が上昇した場合、発行体(またはその他債務当事者)による特定の債務の返済が予想よりも遅くなり、これらの債務証券の価値が下落するリスクのこと。金利ライジングは負債証券のデュレーションを長期化させ、市場価値を金利変動の影響を受けやすくする傾向があります。

変動金利証券は、基準金利の水準に基づいて証券のクーポンレートが変動する仕組みになっています。その結果、変動利付証券のクーポンは通常、金利が低下する環境で低下し、ファンドが証券から受け取る収益が減少します。変動利付証券のクーポン・レートは、証券の条件に従って定期的にリセットされます。したがって、金利上昇環境では、クーポン・レートのリセット頻度が低い変動金利証券は、市場金利の変動に遅れをとる可能性があります。

ハイイールド債券(「ジャンク」債券)は、流動性が低く、市場の変動や損失リスクが格付けの高い債券よりも大きいため、投機性が高いと考えられます。金利が低下した場合、またはポートフォリオにデフォルトが発生した場合、ファンドのインカムは減少する可能性があります。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模、ボラティリティに大きな影響を与える可能性のある1つまたは複数のインデックスまたはモデルの構成銘柄となる場合があります。インフレが進行すると、ファンドの資産と分配金の現在価値が下落する可能性があります。

金利リスクとは、ファンドのポートフォリオに含まれる債券の価値が金利のライジングにより下落するリスクのことです。金利リスクは一般的に、短期の負債証券では低く、長期の負債証券では高くなります。

レバレッジにより、当初投資した金額を超えることはありません。レバレッジは、ファンドの資産または資産クラスへのエクスポージャーの増減の影響を、時には著しく拡大する傾向があり、ファンドの株式価値を不安定にし、市場の変動に敏感に反応させる可能性があります。

ロンドン銀行間取引金利(「LIBOR」)は参照レートとして利用できなくなりました。LIBORからの移行がファンドまたはファンドが投資する特定の金融商品に及ぼす潜在的な影響を予測することは困難であり、ファンドに損失が生じる可能性があります。LIBORの利用不能または代替は、特定のファンド投資の価値、流動性、またはリターンに影響を与える可能性があり、ポジションの決済および新規取引の開始に関連して費用が発生する可能性があります。

ファンド投資の中には、転売制限の対象となったり、店頭取引や取引量が限られていたり、活発な取引市場がなかったりするものがあります。流動性の低い証券は割安で取引され、市場価値が大きく変動する可能性があります。

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオ・マネージャーは、望ましい結果をもたらさない可能性のある投資手法やリスク分析を適用します。

市場リスクとは、特定の証券やファンドの株式全般が値下がりするリスクのことです。証券は、一般的な経済情勢、政治的な出来事、規制や市場の動向、金利の変化、証券価格のトレンドの認識などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式が値下がりしたり、他の投資を下回る可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他公衆衛生上の問題、景気後退、自然災害、その他の事象など、地域的、世界的な事象がファンドに重大な悪影響を及ぼす可能性があります。

ファンドは、マーケットメーカーの数に限られているためにファンド株式の市場が活発でない可能性があるなど、多くの市場取引リスクに直面しています。マーケットメイカーや指定参加者が市場の緊張時にその役割を縮小したり撤退したりすることを決定した場合、ファンドのポートフォリオ証券の基礎的価値とファンドの市場価格との関係を維持する裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

米国以外の発行体の通貨は、為替変動、政治的リスク、源泉徴収、流動性の欠如、適切な財務情報の欠如、米国以外の発行体に影響を与える為替管理規制など、さらなるリスクの影響を受けます。

ファンドおよびファンド・アドバイザーは、統制や手続きを通じて様々な運用リスクの軽減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドはカस्टディを含む様々なサービスを第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や障害が発生した場合、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

ファンドの株式の市場価格は、通常、ファンドの純資産額(以下「NAV」)の変動および取引所における株式の相対的な需給に応じて変動し、ファンドのインベストメント・アドバイザーは、株式の取引がNAVを下回るのか、NAVと同水準となるのか、またはNAVを上回るのかを予測することはできません。

期限前返済リスクとは、負債証券の発行体が予定された満期日より前に元本を返済するリスクのことです。期限前償還が可能な負債証券は、金利が低下している期間中に利益を得る可能性が低くなる可能性があります。

ローンを発行する企業はレバレッジが高い傾向があるため、利息の繰り延べ、債務不履行、倒産などのリスクを受けやすくなります。ローンは通常、投資適格以下の格付けですが、格付けされていない場合もあります。現在、これらのローンに関連するリスクは、ハイイールド債券のリスクと同様です。シニア・ローン市場では、レンダーの保護が弱いローンが顕著に増加しており、将来、回収価値や取引水準に影響を与える可能性があります。

空売りには特別なリスクがあり、損益の増加やリターンの変動が生じる可能性があります。空売りの損失は空売りした証券の価値が上昇することで発生するため、理論上その損失は無限です。単一のアセットクラス、国、地域、産業、またはセクターに大きなエクスポージャーを持つファンドは、広範に分散されたファンドよりも、経済または政治的な不利な展開の影響を受ける可能性があります。

中堅・中小企業の価格は、大企業に比べて変動が大きく、流動性が低い場合があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止されることがあります。ファンドが取引所への上場を維持するための要件が引き続き満たされる、または変更されないという保証はありません。連邦政府機関および米国政府支援機関が発行または保証する証券は、米国政府の全信頼と信用によって裏付けされている場合とされていない場合があります。

ファンドは、市場相場以外の要因に基づいて評価される可能性のある証券またはその他資産を保有する場合があります。これは、その資産または証券が集中取引所で取引されていないため、または市場の混乱時や流動性の低下時に発生する可能性があります。時価評価された資産や証券を含め、市場相場以外の手法で評価された保有残高は、市場相場を使用した場合よりも、日によって評価が大きく変動する可能性があります。ファンドがポートフォリオのポジションをいつでも設定された評価額で売却または決済できる保証はありません。

ファンドは、市場全体よりもボラティリティの高い証券に投資する場合があります。

First Trust Advisors L.P.は当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は当ファンドの販売元であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。

本情報は、特定の個人に対する投資推奨や助言を意図したものではありません。本情報を提供することにより、ファースト・トラストは、ERISA、内国歳入法、その他いかなる規制の枠組みにおいても、受託者の立場で助言を行うことを約束するものではありません。金融の専門家は、投資リスクを独自に評価し、顧客にとって投資が適切かどうかを判断する際に独自の判断を下す責任があります。

定義

標準偏差は、価格の変動性(リスク)を示す指標です。アルファは、投資対象がベンチマークに対してリスク調整後でどれだけアウトパフォームまたはアンダーパフォームしているかを示す指標です。ベータは、市場に対する価格変動性の指標です。シャープレシオは、ボラティリティの単位当たりの超過報酬の尺度です。相関はパフォーマンスの類似性の尺度です。ICE BofA US High Yield Constrained Index は、米国内市場で公募発行されるミドル建て投資適格以下の社債のパフォーマンスをトラッキングしますが、発行体エクスポージャーは2%に制限されています。

» Fund Objective

This exchange-traded fund seeks to provide current income by investing primarily in a diversified portfolio of high-yield debt securities which are rated below investment grade or unrated. Capital appreciation is a secondary objective.

» Fund Facts

Fund Ticker	HYLS
CUSIP	33738D408
Intraday NAV	HYLSIV
Fund Inception Date	2/25/13
30-Day SEC Yield†	7.55%
Primary Listing	Nasdaq

» Fees and Expenses*

Management Fees	0.95%
Other Expenses	0.32%
Total Annual Expenses	1.27%

» Portfolio Managers

William Housey, CFA;
Managing Director of Fixed Income
Jeffrey Scott, CFA; Senior Vice President

» Fund Description

- » The First Trust Tactical High Yield ETF is an actively managed exchange-traded fund. Under normal market conditions, the fund will invest in high-yield debt securities, including U.S. and non-U.S. corporate debt obligations, bank loans and convertible bonds.
- The fund intends to maintain both long and short positions^ in securities. The fund's long positions may total up to 130% of the fund's net assets. The fund's short positions will range between 0% and 30% of the fund's net assets.
 - The fund may take short positions in U.S. Treasury securities and/or corporate debt obligations, which may be rated investment grade or deemed to be high-yield securities.
 - This long/short strategy is designed to capitalize on investment opportunities through various market cycles.

» Fund Advisor

- » The portfolio is selected and managed by the First Trust Advisors' Leveraged Finance Investment Team.
- The team uses a combination of a rigorous fundamental credit selection process with relative value analysis and believes that an evolving investment environment offers varying degrees of investment risk opportunities in the high-yield, senior loan, derivative and fixed-income instrument markets.
 - In order to capitalize on attractive investments and effectively manage potential risk, the team believes that the combination of thorough and continuous credit analysis, market evaluation, diversification, long and short positions and the ability to reallocate investments among senior and subordinated debt and derivatives may allow them to achieve higher risk-adjusted returns.
 - Fundamental analysis involves the evaluation of industry trends, management quality, collateral adequacy, and the consistency of corporate cash flows. Through fundamental credit analysis, the Leveraged Finance Investment Team can position the portfolio in securities that they believe will provide the most attractive relative value in the market.

» Performance Summary (%)

	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	Since Fund Inception
Fund Performance*							
Net Asset Value (NAV)	7.66	13.38	13.38	0.88	4.28	3.61	4.09
After Tax Held	6.96	10.54	10.54	-1.62	1.84	1.19	1.63
After Tax Sold	4.52	7.80	7.80	-0.41	2.24	1.66	2.02
Market Price	7.73	13.73	13.73	0.81	4.36	3.59	4.08

» Index Performance**

ICE BofA US High Yield Constrained Index	7.07	13.46	13.46	2.00	5.19	4.51	4.68
--	------	-------	-------	------	------	------	------

» Calendar Year Total Returns (%)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
HYLS	—	2.43	-0.15	8.56	6.06	-1.79	13.93	5.43	3.60	-12.59	13.38
ICE BofA US High Yield Constrained Index	—	2.51	-4.61	17.49	7.47	-2.25	14.41	6.07	5.35	-11.21	13.46

» 3-Year Statistics

	Standard Deviation (%)	Alpha	Beta	Sharpe Ratio	Correlation
HYLS	9.07	-1.06	1.04	-0.10	0.97
ICE BofA US High Yield Constrained Index	8.44	—	1.00	0.02	1.00

On January 3, 2023, the fair value methodology used to value the senior loan investments held by the fund was changed. Prior to that date, the senior loans were valued using the bid side price provided by a pricing service. After such date, the senior loans were valued using the midpoint between the bid and ask price provided by a pricing service. The change in the fund's fair value methodology on January 3, 2023, resulted in a one-time increase in the fund's net asset value of approximately \$0.035 per share on that date, which represented a positive impact on the fund's performance of 0.09%. Without the change to the pricing methodology, the performance of the fund on a NAV basis would have been 13.30%, 0.86%, 4.27%, 3.61%, 4.09%, in the one-year, three-year, five-year, ten-year and since fund inception periods ended December 29, 2023, respectively.

Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.com.

Other Expenses consist of margin interest expense and dividend expense on investments sold short.

†30-day SEC yield is calculated by dividing the net investment income per share earned during the most recent 30-day period by the maximum offering price per share on the last day of the period.

*NAV returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. After Tax Held returns represent return after taxes on distributions. Assumes shares have not been sold. After Tax Sold returns represent the return after taxes on distributions and the sale of fund shares. Returns do not represent the returns you would receive if you traded shares at other times. Market Price returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative. After-tax returns are calculated using the historical highest individual federal marginal income tax rates and do not reflect the impact of state and local taxes. Actual after-tax returns depend on the investor's tax situation and may differ from those shown. The after-tax returns shown are not relevant to investors who hold their fund shares through tax-deferred arrangements such as 401(k) plans or individual retirement accounts.

**Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

^"Long" and "short" are investment terms used to describe ownership of securities. To buy securities is to "go long." The opposite of going long is "selling short." Short selling is an advanced trading strategy that involves selling a borrowed security. Short sellers make a profit if the price of the security goes down and they are able to buy the security at a lower amount than the price at which they sold the security short.

>> Portfolio Information

Number Of Holdings	304
Net Weighted Average Effective Duration (Includes Short Positions) ¹	3.37 Years
Weighted Average Effective Duration (Long Positions) ¹	3.37 Years
Weighted Average Maturity (Long Positions)	5.18 Years
Weighted Average Price	\$93.23
Long Positions	102.71%
Short Position - U.S. Treasury Securities	0.00%
Option-Adjusted Spread	236 bps
3-Month Term SOFR ²	5.33%

>> Top Industry Exposure (%)

Software	15.30
Media	15.20
Insurance	14.97
Containers & Packaging	6.40
Hotels, Restaurants & Leisure	6.27
Health Care Providers & Services	6.17
Health Care Technology	5.88
Trading Companies & Distributors	3.43
Diversified Telecommunication Services	2.77
IT Services	2.23

>> Top Issuers (%)

AssuredPartners Inc.	4.17
Verscend Technologies, Inc (Cotiviti)	3.91
Alliant Holdings I, LLC	3.82
HUB International Limited	3.60
Cablevision (aka CSC Holdings, LLC)	3.19
Open Text Corporation (GXS)	3.11
Charter Communications Operating, LLC	2.93
Gray Television, Inc.	2.60
Nexstar Broadcasting Inc	2.59
SS&C Technologies Holdings, Inc.	2.54

>> Top Asset Types (%)

Bond	91.08
Loan	8.90
Equity	0.02

>> Credit Quality (%)⁴

A+	0.39
A-	1.17
BBB+	1.09
BBB	3.80
BBB-	6.43
BB+	5.83
BB	4.99
BB-	9.84
B+	14.03
B	12.76
B-	16.11
CCC+	19.89
CCC	3.08
NR	0.59

Portfolio information statistics exclude cash and other assets and liabilities.

¹A measure of a bond's sensitivity to interest rate changes that reflects the change in a bond's price given a change in yield.

²A measurement of the spread of a fixed-income security rate and the risk-free rate of return, which is adjusted to take into account an embedded option.

³Term SOFR Reference Rates provide an indicative, forward-looking measurement of SOFR rates, based on market expectations implied from leading derivatives markets. The Secured Overnight Financing Rate (SOFR) is a broad measure of the cost of borrowing cash overnight collateralized by Treasury securities. The SOFR includes all trades in the Broad General Collateral Rate plus bilateral Treasury repurchase agreement (repo) transactions.

⁴The ratings are by S&P Global Ratings. A credit rating is an assessment provided by a nationally recognized statistical rating organization (NRSRO), of the creditworthiness of an issuer with respect to debt obligations. Ratings are measured on a scale that generally ranges from AAA (highest) to D (lowest). Investment grade is defined as those issuers that have a long-term credit rating of BBB- or higher. "NR" indicates no rating. The credit ratings shown relate to the credit worthiness of the issuers of the underlying securities in the Fund, and not to the Fund or its shares. Credit ratings are subject to change.

You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Portfolios L.P. at 1-800-621-1675 or visit www.ftportfolios.com to obtain a prospectus or summary prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus or summary prospectus should be read carefully before investing.

Risk Considerations

You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus and Statement of Additional Information for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

Investments in bank loans are subject to the same risks as other debt securities, but the risks may be heightened because of limited public information available and because loan borrowers may be leveraged and tend to be more adversely affected by changes in market or economic conditions. The secondary market for bank loans may be subject to irregular trading activity, wide bid/ask spreads and extended trade settlement periods.

During periods of falling interest rates if an issuer calls higher-yielding debt instruments, a fund may be forced to invest the proceeds at lower interest rates, likely resulting in a decline in the fund's income.

A fund that effects all or a portion of its creations and redemptions for cash rather than in-kind may be less tax-efficient.

Investment exposure to CDX credit protection is subject to the risks of the underlying credit default swap obligations, which include general market risk, liquidity risk, credit risk and counterparty risk. Regardless of whether the fund buys or sells CDX credit protection, such investments can result in gains or losses that may exceed gains or losses the fund would have incurred investing directly in high yield debt securities.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

Covenant-lite loans contain fewer maintenance covenants than traditional loans and may not include terms that allow the lender to monitor the financial performance of the borrower and declare a default if certain criteria are breached. This may hinder a fund's ability to mitigate problems and increase a fund's exposure to losses on such investments.

An issuer or other obligated party of a debt security may be unable or unwilling to make dividend, interest and/or principal payments when due and the value of a security may decline as a result.

Ratings assigned by a credit rating agency are opinions of such entities, not absolute standards of credit quality and they do not evaluate risks of securities. Any shortcomings or inefficiencies in the process of determining credit ratings may adversely affect the credit ratings of the securities held by a fund and their perceived or actual credit risk.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. As a means to fight inflation, the Federal Reserve and certain foreign central banks have raised interest rates and expect to continue to do so, and the Federal Reserve has announced that it intends to reverse previously implemented quantitative easing. Recent and potential future bank failures could result in disruption to the broader banking industry or markets generally and reduce confidence in financial institutions and the economy as a whole, which may also heighten market volatility and reduce liquidity. In February 2022, Russia invaded Ukraine which has caused and could continue to cause significant market disruptions and volatility within the markets in Russia, Europe, and the United States. The hostilities and sanctions resulting from those hostilities have and could continue to have a significant impact on certain fund investments as well as fund performance and liquidity. The COVID-19 global pandemic, or any future public health crisis, and the ensuing policies enacted by governments and central banks have caused and may continue to cause significant volatility and uncertainty in global financial markets, negatively impacting global growth prospects.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Investments in debt securities subject the holder to the credit risk of the issuer and the value of debt securities will generally change inversely with changes in interest rates. In addition, debt securities generally do not trade on a securities exchange making them less liquid and more difficult to value.

Defaulted securities pose a much greater risk that principal will not be repaid than non-defaulted securities which may result in losses for a fund.

The use of derivatives instruments involves different and possibly greater risks than investing directly in securities including counterparty risk, valuation risk, volatility risk, and liquidity risk. Further, losses because of adverse movements in the price or value of the underlying asset, index or rate may be magnified by certain features of the derivatives.

Please see additional risks on the following page.

Risk Considerations Continued

Distressed securities are speculative and often illiquid or trade in low volumes and thus may be more difficult to value and pose a substantial risk of default.

Extension risk is the risk that, when interest rates rise, certain obligations will be paid off by the issuer (or other obligated party) more slowly than anticipated, causing the value of these debt securities to fall. Rising interest rates tend to extend the duration of debt securities, making their market value more sensitive to changes in interest rates.

Floating rate securities are structured so that the security's coupon rate fluctuates based upon the level of a reference rate. As a result, the coupon on floating rate securities will generally decline in a falling interest rate environment, causing a fund to experience a reduction in the income it receives from the security. A floating rate security's coupon rate resets periodically according to the terms of the security. Consequently, in a rising interest rate environment, floating rate securities with coupon rates that reset infrequently may lag behind the changes in market interest rates.

High yield securities, or "junk" bonds, are less liquid and are subject to greater market fluctuations and risk of loss than securities with higher ratings, and therefore, are considered to be highly speculative.

A fund's income may decline when interest rates fall or if there are defaults in its portfolio.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

As inflation increases, the present value of a fund's assets and distributions may decline.

Interest rate risk is the risk that the value of the debt securities in a fund's portfolio will decline because of rising interest rates. Interest rate risk is generally lower for shorter term debt securities and higher for longer-term debt securities.

Leverage may result in losses that exceed the amount originally invested and may accelerate the rates of losses. Leverage tends to magnify, sometimes significantly, the effect of any increase or decrease in a fund's exposure to an asset or class of assets and may cause the value of a fund's shares to be volatile and sensitive to market swings.

The London Interbank Offered Rate ("LIBOR") has ceased to be made available as a reference rate. Any potential effects of the transition away from LIBOR on the fund or on certain instruments in which the fund invests is difficult to predict and could result in losses to the fund. The unavailability or replacement of LIBOR may affect the value, liquidity or return on certain fund investments and may result in costs incurred in connection with closing out positions and entering into new trades.

Certain fund investments may be subject to restrictions on resale, trade over-the-counter or in limited volume, or lack an active trading market. Illiquid securities may trade at a discount and may be subject to wide fluctuations in market value.

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

Securities of non-U.S. issuers are subject to additional risks, including currency fluctuations, political risks, withholding, lack of liquidity, lack of adequate financial information, and exchange control restrictions impacting non-U.S. issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

Prepayment risk is the risk that the issuer of a debt security will repay principal prior to the scheduled maturity date. Debt securities allowing prepayment may offer less potential for gains during a period of declining interest rates, as a fund may be required to reinvest the proceeds of any prepayment at lower interest rates.

Companies that issue loans tend to be highly leveraged and thus are more susceptible to the risks of interest deferral, default and/or bankruptcy. Loans are usually rated below investment grade but may also be unrated. As a result, the risks associated with these loans are similar to the risks of high-yield fixed income instruments. The senior loan market has seen a significant increase in loans with weaker lender protections which may impact recovery values and/or trading levels in the future.

Short selling creates special risks which could result in increased gains or losses and volatility of returns. Because losses on short sales arise from increases in the value of the security sold short, such losses are theoretically unlimited.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

Securities of small- and mid-capitalization companies may experience greater price volatility and be less liquid than larger, more established companies.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

Securities issued or guaranteed by federal agencies and U.S. government sponsored instrumentalities may or may not be backed by the full faith and credit of the U.S. government.

A fund may hold securities or other assets that may be valued on the basis of factors other than market quotations. This may occur because the asset or security does not trade on a centralized exchange, or in times of market turmoil or reduced liquidity. Portfolio holdings that are valued using techniques other than market quotations, including "fair valued" assets or securities, may be subject to greater fluctuation in their valuations from one day to the next than if market quotations were used. There is no assurance that a fund could sell or close out a portfolio position for the value established for it at any time.

A fund may invest in securities that exhibit more volatility than the market as a whole.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. By providing this information, First Trust is not undertaking to give advice in any fiduciary capacity within the meaning of ERISA, the Internal Revenue Code or any other regulatory framework. Financial professionals are responsible for evaluating investment risks independently and for exercising independent judgment in determining whether investments are appropriate for their clients.

Definitions

Standard Deviation is a measure of price variability (risk). **Alpha** is an indication of how much an investment outperforms or underperforms on a risk-adjusted basis relative to its benchmark. **Beta** is a measure of price variability relative to the market. **Sharpe Ratio** is a measure of excess reward per unit of volatility. **Correlation** is a measure of the similarity of performance. The **ICE BofA US High Yield Constrained Index** tracks the performance of U.S. dollar denominated below investment grade corporate debt publicly issued in the U.S. domestic market but caps issuer exposure at 2%.

ご留意事項

- ◆ 本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「P P M（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。
- ◆ 本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。
- ◆ 本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。
- ◆ 本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものではありません。記載内容は予告なく変更されることがあります。
- ◆ 本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ◆ 本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2315号 加入協会：日本証券業協会
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階 Tel：03-4550-2518（代）
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp